

CSVの視点を織り込んだ「マーケティング経営」

当社グループは、「社会課題」の解決に役立つインフラ整備、製品・技術・サービスなどを提供することで、「企業価値」を創造すると同時に「社会価値」の創造に寄与していきます。

SDGsの17の目標のうち、特に「11. 住み続けられるまちづくりを」と「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」への貢献を行うとともに、「古河機械金属グループの価値創造プロセス」(P2、P3ご参照)にて明示している「社会インフラ整備」、「安全で環境に優しい豊かな社会の実現」という「社会価値」の創造を実現していきます。

CSVの視点を織り込んだ「マーケティング経営」によるSDGsへの貢献

古河機械金属グループは、CSVの視点を織り込んだ『マーケティング経営』を実践し、「社会インフラ整備」と「安全で環境に優しい豊かな社会の実現」という「社会価値」を創造することでSDGsの目標達成に貢献します。

部門	主な製品・技術・サービス	貢献度が高いSDGs目標(◎:特に重要、○:重要)										
		2 気候変動	3 健全な気候とエネルギー	6 安全な水と衛生	7 再生可能エネルギー	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 持続可能な都市とコミュニティ	12 つくって消費する責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海洋資源の持続可能な開発と保全		
産機機械	ポンプ、ベルトコンベヤ、橋梁・鋼構造物		○	◎				◎	◎		○	◎
ロックドリル	トンネルドリルジャンボ、油圧クローラドリル、油圧圧砕機		○					◎	◎	○		
ユニック	ユニッククレーン、ミニクローラクレーン、オーシャンクレーン		○					◎	◎			◎
金属	電気銅				○			◎	◎			
電子	高純度金属ヒ素、コイル、光学部品(レンズ)		○					◎	◎			
化成品	硫酸、硫酸バンド、硫酸第一鉄	○	○	◎				◎	◎			

CSVの視点を織り込んだ「マーケティング経営」の実例

1. 機械事業ロックドリル部門

「トンネル工事用機械」で「社会インフラ整備」に貢献

現代社会では、移動手段として鉄道や道路が欠かせない存在になっています。その鉄道や道路には、いくつものトンネルがあります。



当社グループの古河ロックドリル(株)では、トンネル工事用機械を製造・販売しています。

(CSR報告書2021に詳細記事を掲載)

全自動ドリルジャンボ

2. 素材事業電子部門

「窒化アルミニウム」で「豊かな社会の実現」に貢献

現代社会では通信技術の発展、ハイブリッド自動車や電気自動車の登場、レーザーを応用した機器の発達、鉄道車両の省力化などにおいて、豊かな社会を実現するために半導体デバイス技術の

躍進が必要不可欠となっています。当社グループの古河電子(株)では、その高度化する電子機器を支える放熱部材「窒化アルミニウム(AIN)」を製造・販売しています。

(CSR報告書2021に詳細記事を掲載)



窒化アルミニウム